

愛知県がんセンター中央病院が取り組んだ事項

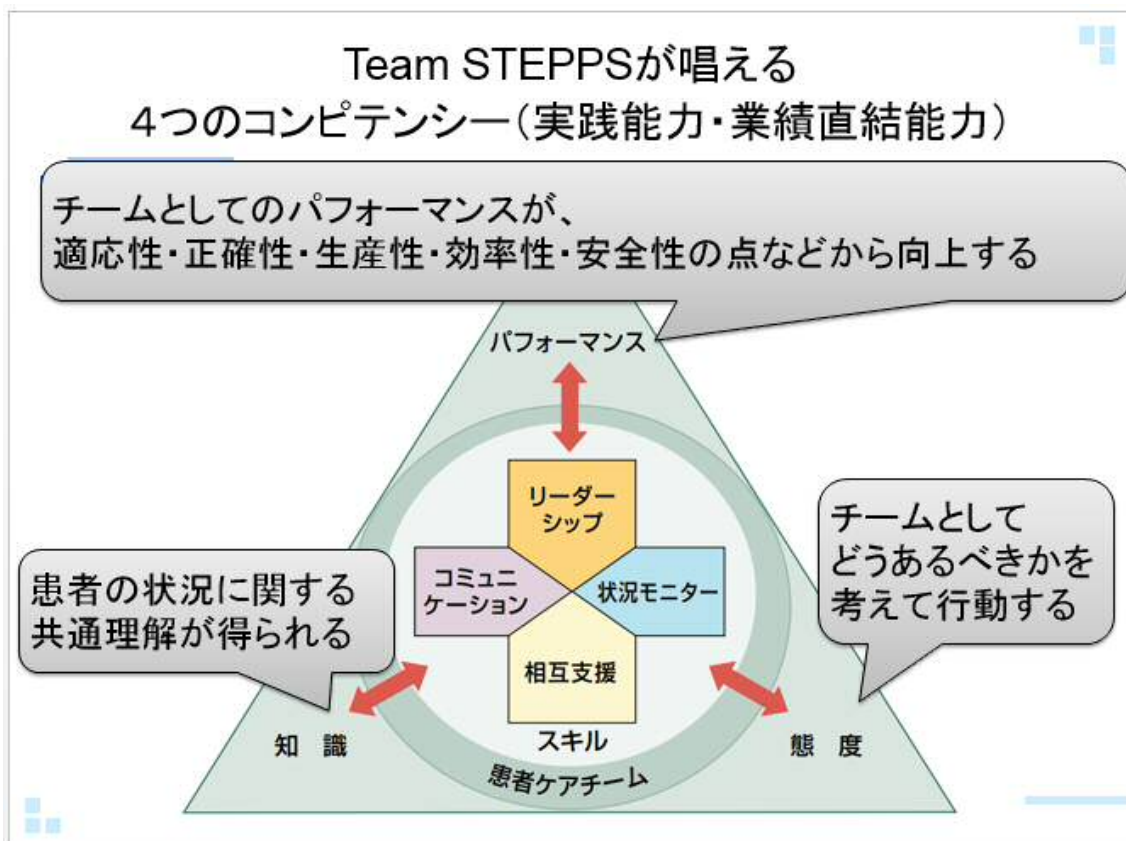
愛知県がんセンター中央病院は、本事例の和解を受け、病院長から全職員を対象に、事例に至った経緯等について説明会を行い、また、より安全な医療を提供するため、平成28年12月現在、下記のような対策を行っています。

記

1. 医療の質の向上への対策・医師および看護師の意識改革について

職種の垣根を超えた、医療安全の意識を根付かせ、コミュニケーションエラーを防止するために、TeamSTEPPS ワーキンググループを立ち上げました。これまでに、TeamSTEPPS トレーニング研修を7回開催し、延べ480人が研修を受講しています。また、医療における安全文化に関する調査を実施するなど、改善点の明確化に努めています。

TeamSTEPPS 概念図



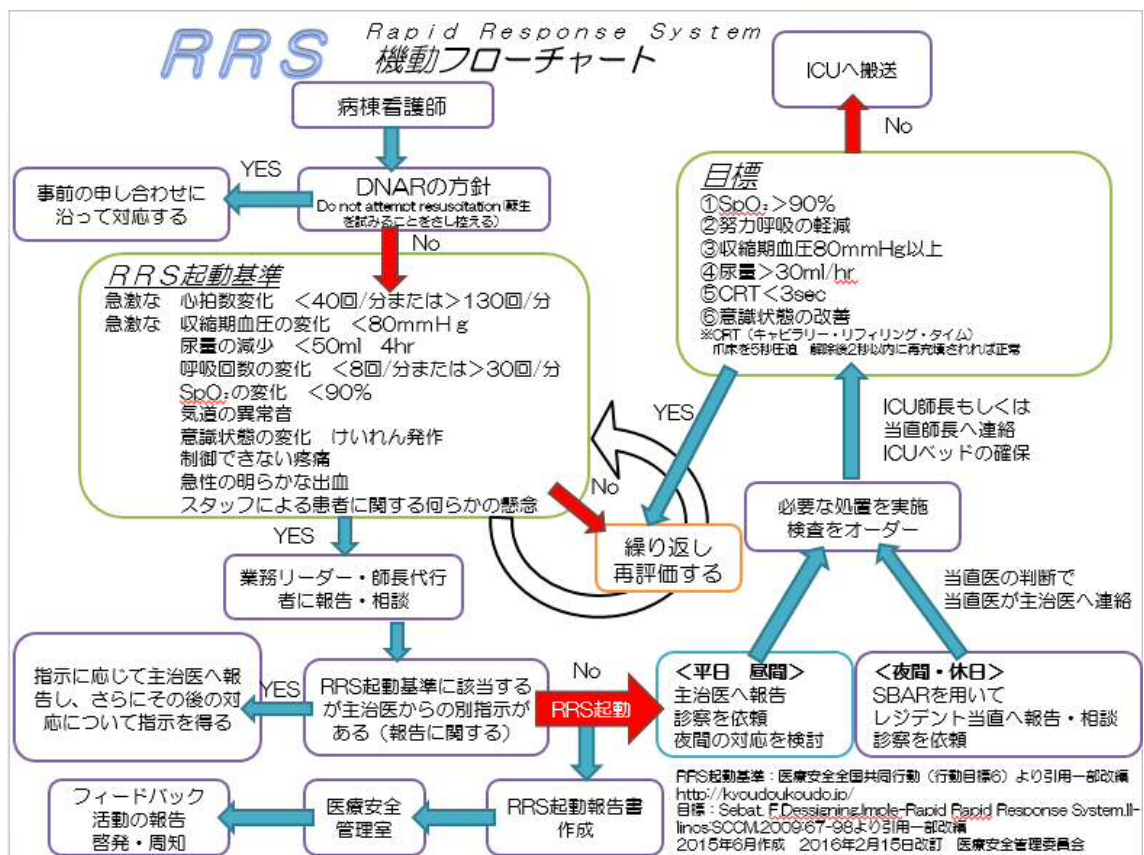
2. 院内救急計画の策定と体制づくり、特に緊急臨床判断困難時の早期対応体制の確立

患者さんの異変をいち早く察知し、医師へ報告するためのシステムを導入するため、RRS (Rapid Response System) ワーキンググループを立ち上げ検討を行いました。RRS を広く周知するためフローチャートを作成し、医療安全ポケットマニュアルに掲載するとともに、RRS の趣旨を全職員に理解してもらうため説明会を行っています。

また、RRS が起動した事例の振り返りを行っています。

さらに、平成 27 年度から患者さんの状態から緊急性の判断や異常の早期発見が出来るようにするため、フィジカルアセスメント研修を行っています。

当院の RRS 機動フローチャート



3. 診療録・看護記録に関する教育・研修について

平成 24 年 10 月、11 月、12 月に看護記録についての説明会を行っています。

4. 医師の増員および適正配置について

平成 24 年度から平成 28 年度までに医師 19 名を増員しています。

5. 集中治療体制について

より専門的で高度な医療を行うため、その中核となる医師の配置に努めています。